

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和5年度の7月～9月期の出荷状況は、県全体で262,000トンとなり、昨年の302,000トンから40,000トン減、前年対比で87%と大幅な減少となった。

4月～9月の上半期累計出荷量は495,000トンとなり、昨年の539,000トンから大幅に減少し、前年対比は92%となっている。令和4年度の下半期実績は全県で488,000トンであり、昨年並みの出荷量で推移すれば、ついに1,000,000トンを下回る市場となる可能性が高い。

地区別では、上越地区が74,000トン(前年対比96%)、中越地区が157,000トン(同98%)、下越地区が254,000トン(同88%)、佐渡地区が9,800トン(同72%)と、県内全地区での減少が見られ、市場の縮小傾向が顕著となっている。

世界各地の戦争、紛争、異常気象(洪水など)の影響で原油価格の上昇が止まらず、さらに1ドル=150円程度の円安が長期間続いているため、アスファルト価格の上昇も続いている。各社は原価上昇分を販売価格に転嫁したいと考えているが、市場が縮小する中での出荷量確保の競争が激しく、価格転嫁が困難な状況となっている。買い手は積算価格を購入単価の目安としており、積算価格が変動しないことも工場運営の困難な要因となっている。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和5年度7月～9月期の出荷状況は、県計で10万7千tで前年同期と比べ14%の減となった。地区別でみると東部地区が6万2千tで17%の減、西部地区が4万5千tで9%の減となった。

主要材料であるアスファルト価格は原油の高騰、円安による伴い価格上昇傾向が予想される。

石川県

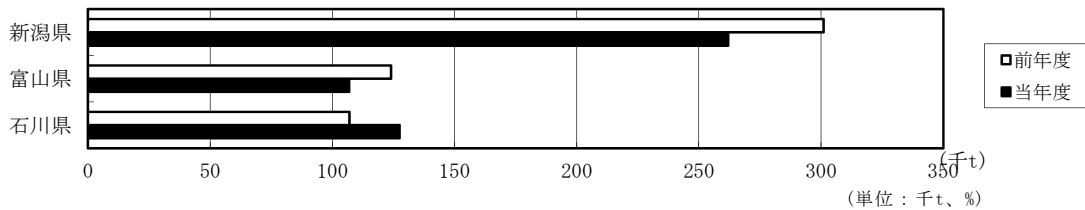
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和5年度7月～9月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比6.0%減、能登地区で前年比41.0%増、石川県全体では前年比3.3%増と昨年同時期に比べ加賀地区は減、能登地区は増、石川県全体としては出荷量が増加した。

主要材料であるアスファルト価格は、主要国の景気見通しの不透明感があり、イスラエル軍によるパレスチナ・ガザ地区への侵攻やロシア、ウクライナ情勢等と共に、円安も重なり引き続き不安要素が多く余談を許さない状況。

またアスファルト関連の物件については、7月～9月期の出荷量に関して、能登地区では大型物件による出荷量の増があり、石川県全体の出荷量は増加したが、今後しばらくは大型物件も見込めず又、冬季天候不順の影響も考えられ出荷量に関しては不透明感が考えられる。

アスファルト合材出荷量の推移(7月～9月期)



県	地区	令和4年度 年計	令和5年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲31 130	▲8 36	0 38			▲4 74
	中越	5 289	4 70	▲5 87			▲1 157
	下越	11 582	▲2 122	▲20 132			▲12 254
	佐渡	14 24	▲29 5	▲29 5			▲29 10
	県計	2 1,025	▲2 233	▲13 262			▲8 495
	富山県	▲16 242	▲14 57	▲17 62			▲15 119
石川県	西部	▲11 176	▲2 44	▲9 45			▲6 90
	加賀	9 384	▲3 81	▲6 93			▲5 174
	能登	1 87	34 22	41 34			38 56
県計	5 470	3 103	3 127			3 231	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

富山県

石川県

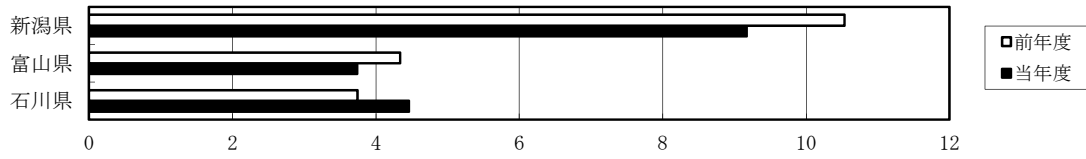
会員32社のうち32社

会員14社のうち14社

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和4年度 年計	令和5年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲31 4.6	▲8 1.3	0 1.3			▲4 2.6
	中越	5 10.1	4 2.5	▲5 3.0			▲1 5.5
	下越	11 20.4	▲2 4.3	▲20 4.6			▲12 8.9
	佐渡	14 0.8	▲29 0.2	▲29 0.2			▲29 0.4
	県計	2 35.9	▲2 8.2	▲13 9.2			▲8 17.3
	富山県	東部	▲16 8.5	▲14 2.0	▲17 2.2		
西部	▲11 6.2	▲2 1.5	▲9 1.6			▲6 3.1	
県計	▲14 14.6	▲9 3.5	▲14 3.7			▲11 7.3	
石川県	加賀	1 13.6	▲3 2.8	10 3.3			3 6.1
	能登	1 3.1	34 0.8	56 1.2			47 2.0
	県計	1 16.6	3 3.6	19 4.5			11 8.1

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量(千t) = アスファルト合材量(千t) × 3.5%」